



The Agricultural Society of JAPAN

公益社団法人 **大日本農会**

東京都千代田区内幸町 1-2-1

日土地内幸町ビル 2 階

TEL 03-3584-6739

FAX 03-3528-8140

オンラインでも同時配信！

令和 5 年度 第 3 回 農業懇話会のご案内

農村政策としての農業集落排水事業の これまでとこれから

昭和 40 年代の高度経済成長が急速に進む中、農村地域では集落からのし尿や生活雑排水の処理施設の整備が都市部に比べて著しく遅れており、たれ流し等による周辺の農業用水の水質悪化による農業被害の解消や生活環境の改善が大きな課題となっていました。

農林省（当時）では、昭和 48 年度からこれら農村地域の喫緊の課題に対応するため、農村整備の一環として農業集落排水施設の整備に着手しました。平成 10 年代までに全国の約 5 千の施設を一気に整備し、現在では農村地域の生活インフラとして重要な役割を果たしています。一方で、近年は施設の老朽化が急速に進展し、効率的な維持管理、適切な更新整備が待ったなしの状況となっています。

（一社）地域環境資源センター（JARUS）は昭和 58 年の設立以来、我が国唯一の農業集落排水に関する技術センターとして、各種の調査研究、技術開発、現場技術支援等を行っています。

今回の講演では、農村政策における集落排水事業の位置付けや技術開発の経緯、更新時代を迎える現在における課題や今後の新技術導入等を踏まえた新たな展開の方向について伺います。

1 演 題 **農村政策としての農業集落排水事業のこれまでとこれから**

2 講 師 （一社）地域環境資源センター 専務理事

仲家 修一（なかや しゅういち）氏

3 日 時 令和 5 年 9 月 21 日（木）午後 2 時～4 時

4 開 催 TKP 新橋カンファレンスセンター

場 所 カンファレンスルーム 15B（入場無料）

（東京都千代田区内幸町 1 丁目 3 番 1 号 幸ビルディング 15 階）

地下鉄都営三田線内幸町駅 A5 出口 徒歩 1 分

JR 新橋駅 日比谷口 徒歩 7 分

東京メトロ 霞ヶ関駅 C4 出口 徒歩 8 分

* オンライン方式でも並行して配信します。

（定員：対面 50 名、オンライン 500 名）

5 主 催 公益社団法人 大日本農会、一般財団法人 農林水産奨励会

講師の紹介

- 昭和 55 年 京都大学農学部卒業
農林水産省入省
- その後、構造改善局、地方農政局、熊本県庁、農
村振興局室長、課長、北海道開発局農業
水産部長、中国四国農政局長を経て
- 平成 28 年 農林水産省を退職し、（一社）地域
環境資源センター専務理事に就任、
現在に至る
- 技術士（農業部門）

参加申込先

公益社団法人 大日本農会
TEL 03-3584-6739
FAX 03-3528-8140
E-mail: kouenkai@dainihon-noukai.jp
氏名、所属先、電話番号をご連絡下さい。
**オンラインで参加希望の方は、その旨
お知らせ下さい。**

アクセスマップ

